

分類 B-1-③

プレゼンテーション、Web ページ、SNS 等によって表現・発信・想像する。

自分の体験したことを表現するためにアプリケーションを活用する力の育成

HYOGO スクールエバンジェリスト 播磨町立播磨西小学校 真嶋 大輔

<p>本時の目標</p> <p>・Springin を使って、冬休みの思い出を動く絵日記で表現することができる。 ・友だちの作った絵日記を交流することで友だちと積極的に関わろうとしている。</p>	校種・学年	自閉・情緒学級
	教科・領域	自立活動
	アプリ・ソフト	・Springin
	備考	

○本時の展開

○学習活動（◆指導上の留意点）	
導入	<p>○冬休みにしたことを思い出す。</p> <p>◆行った場所や、したことなど簡単に質問することで想起させる。</p>
展開	<p>動く絵日記を作ろう</p> <p>○Springin を使って絵日記を作成する。</p> <p>◆ページの変更や絵の動かし方など基本的な使用方法を確認する。</p> <p>◆アイコンが分かりやすくなるように、説明を加えた掲示物を用意し掲示しておく。</p>
まとめ	<p>○友だちに冬休みの思い出を紹介する。</p> <p>◆友だちの発表を聞いて、質問を考えたりすることでコミュニケーションの素地を養う。</p>

育成できる情報活用能力

◎試行錯誤しながらプログラムを作成することでプログラミング的思考を養うことができるようにする。



育成できる情報活用能力

◎相手を意識した発表（プレゼンテーション）の方法を育成することができる。

児童の感想

- ・絵日記が動いたりするので、楽しかったです。
- ・もっといろいろな動きを付けたいと思いました。
- ・友だちの絵日記発表を聞いて、羨ましいと思いました。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・試行錯誤を繰り返すことでプログラミング的思考を養うことができる。
- ・Springin を活用することで、文章を書くことが苦手な児童も表現する楽しさを味わうことができる。

苦手な「文字を読む」ことに AI 教材を用いることで、主体的に取り組む

HYOGO スクールエバンジェリスト 宝塚市立長尾小学校 東浦 裕也

本時の目標	校種・学年	小学校・2年
・プリントや教科書では苦手な、文字を読むことに AI 教材を用いて前向きに取り組む。 ・特殊音節（促音、長音、拗音、拗長音）の音の違いに視覚的（○の大きさ、手振り）な手掛かりの違いで気付く。 ・文章を言葉のまとまりで区切る	教科・領域	通級指導
	アプリ・ソフト	・AI 教材
	備考	ベネッセ「まるぐランド for School」

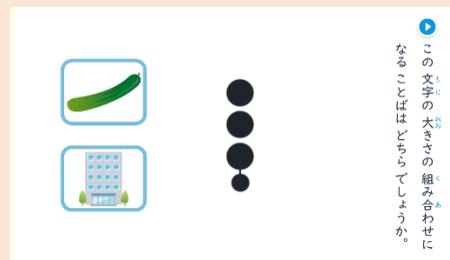
○本時の展開

	○学習活動（◆指導上の留意点）
導入	○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">文字を読んで読み名人になろう！</div> ○スケジュールを提示する。 ◆見通しを持って学習できるようにする。 ◆毎回、同じスケジュールの流れにし、自発的に取り組めるようにする。
展開	○AI 教材で学習をする。 ◆自分の苦手さを補うためのおすすめ教材を中心に取り組むように声をかける。 ◆特殊音節の音を伸ばす（「しーーやー」のように）など聴覚的な違いも明確にする。 ○読み書きアセスメントパッケージ MIM のプリントに取り組む。 ◆説明に AI 教材と同じ○の大小も用いる。
まとめ	○振り返り ◆今日学習した絵カードで間違えたものにもう一度取り組む。 ◆再度、身振りを用いて音の違いを確認する。

育成できる情報活用能力

◎主体的に学習を進められるように、課題の選択等の操作ができるようにする。

◎慣れてくれば、苦手な「読む」ことを支えるために、必要に応じて読み上げ機能を自主的に選択して活用することができるように伝える。



ベネッセ「まるぐランド for School」の画面

児童の感想

- ・読んでくれるから、読みやすい。
- ・問題が簡単だからできる。
- ・問題を解くとバッジがもらえるので、集めたい。
- ・問題を解くとチケットがもらえて、ゲーム（認知トレーニング）ができて楽しい。

<情報活用能力の育成とその効果>

- ・教科書等では文字を読む抵抗感が強い児童も、読み上げ機能や直感的な操作ができる AI 教材だと抵抗感が少なく取り組むことができる。
- ・「できる」活動から入ることで、取り組みにくいプリント教材等にも取り組みやすい。
- ・児童が主体的に読み進めて学習ができる。